

## 公の施設目標管理型評価書（新潟市北区文化会館）

施設名	新潟市北区文化会館		
管理者名	NKS・ハビスカとよさか・コンベンションリンクエージ共同事業体	指定期間	平成27年4月1日 ～ 平成32年3月31日
担当課	北区産業振興課		
所在地	新潟市北区東栄町1丁目1番5号		
根拠法令	—		
設置条例	新潟市北区文化会館条例		
施設概要	建築年 平成22年 敷地面積 24,520平方メートル 建築面積 4,427平方メートル 延床面積 4,708平方メートル 鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造・鉄筋コンクリート造）2階建 ホール（収容人員549人。ほか身障者スペース8席）、練習室4、楽屋3、保育室、会議室 他敷地内施設 駐車場（314台）、園路、広場、植樹帯など		

施設設置目的
音楽、演劇等の鑑賞又は創作活動の機会を提供し、もって市民の芸術文化活動の発展に資するため、新潟市北区文化会館を設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1) 文化事業 「市民の芸術文化活動の発展」という設置目的を果たすため、常に新鮮でかつ安定した文化事業の運営に努める。 <b>【重点事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた音楽、演劇等の舞台芸術の鑑賞機会の提供</li> <li>・創作活動の機会の提供と参加の促進</li> <li>・地域に根ざした文化の発信</li> <li>・文化を通じたひとつづくり・まちづくりによる賑わいの創出</li> </ul>
(2) 施設運営 貸館に関する業務、ホール業務及び館内業務を行う。 <b>【重点事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸館に関する業務の円滑化を図るため、利用希望者の使用条件等を勘案し、公の施設として公平性に配慮しつつ必要に応じた調整</li> <li>・舞台機構設備、舞台照明設備、舞台音響設備等及び備品の日常点検並びに管理を行うとともに、それらの操作に精通し、利用者に対し安全で、高度なサービスを提供</li> <li>・来館者の満足度を向上するため、様々なサービスの提供</li> </ul>
(3) 施設管理 施設設備や舞台設備などの施設管理については、日常点検を行うなど、常に良好な状態及び性能を維持するとともに、効果的かつ効率的な管理を行う。 <b>【重点事項】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備等の保守管理業務</li> <li>・清掃業務等の環境維持管理業務</li> <li>・効果的かつ効率的な管理運営執行体制の確保</li> <li>・専門的職員の配置</li> <li>・適切な執務体制</li> <li>・人材育成の取組</li> </ul>

平成29年度 目標管理型評価書

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	情報発信	情報誌の発行 年6回以上	HPにて随時情報発信 毎月会館催事案内情報誌を発行配布	A	HPも見やすく配慮し、情報発信も指標を大幅に上回っている。
	基準稼働率の達成	ホール・練習室等の稼働率 年間74%以上	ホール・練習室等の稼働率79%	A	目標値を上回り達成した。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで「満足」が90%以上	施設評価99% スタッフ評価100%	A	高い満足度を維持している。
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には7営業日以内に回答	関係機関と連絡を取りながら7営業日以内に対応	A	適切かつ迅速であり、丁寧な対応を行っていた。
	文化事業の実施	管理・運営に関する基本理念、方針等（1）文化事業の【重点事項】に記載の4項目に合致する指定管理文化事業を以下のとおり実施 事業数：12事業以上 事業費（支出ベース）：21,000千円以上	鑑賞型事業年間12事業 創作参加型事業4事業 交流発信型事業11事業 普及育成型事業14事業 計41事業 事業費26,418千円	A	事業数、事業費とともに、指標を大きく上回っている。
財 務	施設管理運営経費の削減	管理運営経費を年間79,800千円以下	光熱水費等、積極的に経費の削減に努め、光熱水費の一定の削減に成功した。収支を勘案した上で、経年劣化対応修繕・修理や備品更新等に努め、市民サービス向上・安全安心に投資した結果、指標内に収める事ができた。管理運営経費79,159千円	A	市民サービスの向上を図りつつ経費削減に努め、目標を達成した。
	適正な財政運営	収支計画に基づく収入の確保及び経費の執行	収入予算107,800千円：収入決算106,008千円 支出予算107,800千円：支出決算105,577千円 支出の削減に努め、収支差額は黒字となる。	B	適正に経費を支出している。

業 務	安全管理責任者の配置と安全確保体制の確立	常時、危機管理責任者を配置し、防災・避難訓練を年2回以上実施	危機管理責任者：田代館長 防火管理者：橋本副館長 2/13・3/23防災避難訓練実施。日々のイメージトレーニングの励行・推奨により、適切な危機管理を実践している。	B	訓練のみならず、日々の業務における体制整備を積極的に行っている。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	迅速な対応と、再発防止策の策定	5/3 警備用ITVモニターの不具合 6/5 図書館での不審物発見、10/23 強風による園地樹木の傾き、10/30機械室1配電盤内への浸水、1/6 冷温水発生器不具合発生、2/8 ホール音響機器（プロセッサー）故障等、それぞれの事件・事故等に迅速に対応した。	A	適切に対応するとともに、事後の経過観察を行い再発防止に努めている。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	安全、節約等考慮しつつ、その他業務仕様書等に定める事項を遵守した。	B	遵守されている。
人 材	職員研修の実施	外部・内部研修の実施 1人あたり2回以上	毎朝礼時のOJTの実施、月例職員会議の実施、外部研修会への積極的な参加13回43名	A	内部での研修のほか、外部の研修会へ積極的に参加した。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守に努め、労務環境関係の充実に努めた。 また前年同様、創作の市民参加型事業等、個々の出演者との連絡調整に時間を要する事業実施に伴う、業務量増加があったが、適正な労務管理改善を図り、労働関係法令を遵守した。	B	適正に遵守されている。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

本年度は、市民が望む鑑賞事業の実施とあわせ、創造、普及育成、交流発信をテーマに、市民との協働連携を重点に置き、市民の視点に立った企画制作に心がけ、文化事業や会館運営と管理を行ってきた。

○鑑賞事業では、気軽に音楽を楽しむ「稲穂クラシック」のほか、落語のまち「北区」を目指した門下生の公演などを加え、創造事業と複合的な連携を図りつつ実施した。また、市民の利便性向上を図るチケットのWEB販売や公演セット券等の販売などにより、入館者増につなげる事ができた。

○創造事業は、創造劇「二日月」を立ち上げ、東京ではない新潟発の地産地消型文化創造を推進するという思いで、公募オーディションを実施、小学4年生を座長に劇団二日月が誕生。4公演中2公演は完売、2公演はほぼ満席となる中、感動溢れる作品が日本初上演され、生演奏と芝居の文化創造劇で勇気づけ、励まし、劇団員と市民の心の交流が生まれた。また、芹洋子さんを招聘し北区うたの祭典では、文化庁の助成を受け完成度を高めた結果、客層が広がるなど高い評価を得た。

運営面では、りゅーとぴあの改修工事に伴う事業協力を行い、人的・施設提供を行ったことでりゅーとぴあとの新しい連携が芽生え、専門/多目的文化会館同士の地域文化向上につながるものとなった。

○交流発信・育成普及事業においては、北区フィルハーモニー管弦楽団の活動支援、昨年導入した舞台音響反射板ホリゾン幕を活用し演奏にあわせた映像投影は評価も高かった。また、国内外で活躍する大谷康子さんのアンサンブルNORTH新潟を立ち上げ、北フィルとのクリニックなど育成普及と市民との音楽交流も実現したほか、秋季は北区音楽文化の祭典in2017を企画実施し認知度の広がりを感じた。さらに北区少年少女合唱団・北区ジュニア吹奏楽団は、各団の教育プログラムを総括、吹奏楽の大型特殊楽器の購入や楽器寄付など活動環境の充実を図り、アウトリーチでは北区内の10会場を回り、底辺の拡大、文化の浸透を図った。

○その他、電力デマンド管理等など光熱水費の支出削減を行い、文化事業も経費削減と収入拡大に努め、若干の黒字計上を図ることができた。施設の経年劣化や備品等の更新、事業の拡充による人件費の増加など課題がある中で、市民サービス向上や安全安心の徹底・満足度の向上に優先投資を行ない円滑な経営を行うことができた。

○職員の待遇や施設の管理運営など各種サービスの利用者満足度は99%と高い評価を得て、スタッフ評価は100%をいただくことができたが、各種事業実施を進め、地域活性化を図るうえでも、職員の労働環境の充実整備は重要課題と認識しており、労務内容や労働時間等を的確に把握し、共同事業体全体として適切な業務指示を行い健全化に努めていく。

今後は、これらのことを踏まえ、市民のための地域文化芸術の継承と発展に尽くしていきたい。

総合評価(所見)

限られた予算の中で、独創的かつ優れた鑑賞事業を市民に提供し、市民が参加できる創造事業を手掛けるなど、市民の芸術文化活動の発展に貢献している。また、施設の基準稼働率は目標値を上回り達成しており、地域に根差した活動の成果として北区の賑わいの創出にもつながっている。年間を通して多くの事業を手掛けながらも、職員研修を実施するなど、職員相互の情報共有と意識改革を促すとともに、労働基準を遵守しており、利用者アンケートで高評価を得ていることも、職員と市民との関わりが深く良好であると評価できる。施設管理では、日々の点検を怠ることなく適切に行い、常に最良な状態で性能を維持していることが利用者の増加にもつながっており、しいては施設管理運営費の削減にも寄与している。今後も、変化する市民のニーズを適切にとらえ、さらなる芸術文化活動の発展に貢献していただきたい。